

今日も「一丁あがり」

第64話
ロボストスは止まらない!! の巻



高垣達郎
(たかがき・たつろう)
1984年アメリカ生まれ、東京都大田区の町工場街で育つ。2011年に(株)ロボストスを創業し、農林水産業機械のワンオフ対応を軸に、独自のサービスを構築。A-1グランプリ2011グランプリを受賞。群馬県を拠点に、機械メーカー・ディーラー・農協・農業生産法人など、全国的に取引を拡大している。(株)ロボストス・代表取締役社長。

皆さん、大変ご無沙汰しております！ 8カ月間連載をお休みしてしまいましたロボストス高垣です。心配してご連絡くださった読者さん、温かく見守ってくださった編集部さん、本当にありがとうございました。決して連載が終了したわけではなく、体調を崩したわけでもなく、採用活動がうまくいかない状況で仕事に集中させてもらっていました。



写真1：パワーアップしたロボストスメンバー。11月から7人体制（1人は12月に復職予定）に！

バーが3人加わってくれました！本当に安心しましたし、ロボストスで頑張りたいと思ってくれる若者がいることは喜びで、笑いの溢れる毎日を送らせてもらっています。とはいえ、メンバーのサポートで目が回る状況で、今後も定期的にコラムを書けないかもしれないですが、皆さんが楽しみにしてください。皆さんの叱咤激励がエネルギーになりますので！というところで、8カ月振りに現場から♪



写真2：コメリなどで販売されているアルミハウスカー。前輪が浮きやすく、タイヤも2、3年で壊れてしまうとのこと。皆さんは気になりませんか？

カスタマイズ費はいくら？

北海道栗山町で和牛とアスパラガスを生産されている齊藤義崇さんから「アルミハウスカーのバランスが悪く、タイヤもすぐ壊れるから、改良して欲しい。ついでに鎌も取り付けられるようにできないか？」と相談がありました。

OK牧場！ ホイールベースを延長して、僕がオススメするタイヤに合う車軸にして（純正タイヤも併用可）、モップホルダーを活用したオリジナルの鎌ホルダーを作



写真3：製品への追加工ではなく、足回りのフレームを新規製作することで、追加注文に対応しやすくした。ホイールベースの長さや車軸の仕様とこだわって仕上げた

って取り付けたら、完成〜！

仕上がりに納得していただけたようで、3台分の受注となりました。簡単そうに見えるのは難しく、簡単にサクッと到達するのは難しいですよ。でも、もつと難しいのは1万2000円ほどのハウスカーのカスタマイズ費の計算です。齊藤さんは「毎日の作業が改善できるんだからいくらでも構わない」と言ってくさいますが（汗）。皆さんなら、この仕事にどれほど価値を感じていただけますか？

というわけで、ロボストスのモノづくりは止まっています。来る2023年も社員一丸で奮闘していきますので、どうか応援を宜しくお願い致します。それでは皆さん、良いお年をお迎えください！
今月も一丁あがり〜♪



写真4：鎌ホルダーも手を抜かず！ 作業者がそれぞれ高さや方向など取付位置を調整できるように配慮してつくった